

授業における ICT の活用に関する調査研究

－ 1 人 1 台端末環境を通して－

研究概要

中央教育審議会答申では、『「令和の日本型学校教育」の構築に向けた ICT の活用に関する基本的な考え方』について、「ICT を主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、今までできなかった学習活動の実施や家庭など学校外での学びを充実する」と示されている。

令和 3 年 9 月文部科学省等の調査「GIGA スクール構想に関する教育関係者へのアンケート結果及び今後の方向性について」では、約 5 割の教員から「担当教科での ICT の効果的な活用方法が分からない」という結果が得られた。本調査研究の研究協力校においても、「授業における 1 人 1 台端末の効果的な活用方法が分からない」という声が多かった。

様々な文献やインターネットで紹介されている 1 人 1 台端末活用のポイントは、教科・単元の限られた内容によるものが多く、他の指導内容では活用しにくいと感じられる。そこで、本調査研究では、「教育の情報化に関する手引」に示されている「ICT を効果的に活用した学習場面の 10 の分類例」を基に、学習場面における活用のポイントと効果を明らかにしたい。そして、それらを多くの教員に知らせることで、1 人 1 台端末の効果的な活用を進めていきたいと考える。

本調査研究では、次の 3 つの研究に取り組んだ。

- ・研究 1 「1 人 1 台端末の活用に関する教員と生徒の意識」
- ・研究 2 「1 人 1 台端末の活用に関する教員の意識の向上への取組」
- ・研究 3 「1 人 1 台端末を活用した授業実践」

研究 1 では、研究協力校の教員・生徒に対して「1 人 1 台端末を活用した授業における ICT 活用アンケート」を実施した。その結果、1 人 1 台端末の効果について、「内容理解が進む」「意見交換が進む」の 2 つの項目では、「効果があると思う」という回答において、教員と生徒に意識の違いがみられた。研究 2 では、教員の 1 人 1 台端末の活用に関する意識の向上を目指して、授業実践の参観並びに協議会での活発な意見交換を促した。そして、1 人 1 台端末の活用研修会において、実際に 1 人 1 台端末を使って、アプリケーションやクラウド活用の体験を行った。研究 3 では、1 人 1 台端末の活用を取り入れた 5 つの授業を設計し、実践した。授業実践後、インタビューや振り返りアンケートを教員と生徒に行い、1 人 1 台端末を含む ICT を活用した授業の効果や課題を明らかにした。これらを基に、1 人 1 台端末活用のポイントと効果の分析・整理を行い、「ICT を効果的に活用した学習場面の 10 の分類例」の中の、5 つの学習場面における 11 のポイントと効果を一覧表にまとめた。

<キーワード>

1 人 1 台端末 ICT 活用 ICT を効果的に活用した学習場面の 10 の分類例